

国立市立国立第八小学校(2年目)

【校長】 大山 章博
 【児童数】 281名
 【学級数】 12学級



次の取組へ

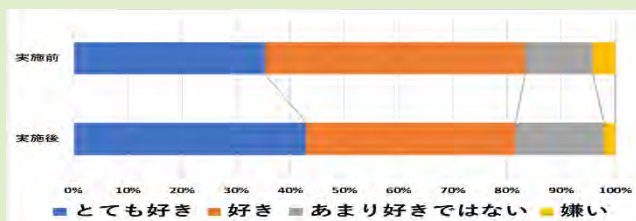
【課題・改善】

- 体を動かすことが好きでないと答えた児童の理由を明確にし、好きと思えるきっかけづくりや工夫を継続して行っていく。
⇒児童からのフィードバックを生かした授業づくりを行う。チームワークを重視した活動を取り入れ、自己肯定感を高める。
- あきらめずに運動に取り組めることが「できる」児童が「よくできる」児童になるために、必要な工夫や手だてを考え、日々の授業に生かしていく。
⇒児童一人一人の目標に合わせたスモールステップでの学びを推進し、即時のフィードバックを行う。

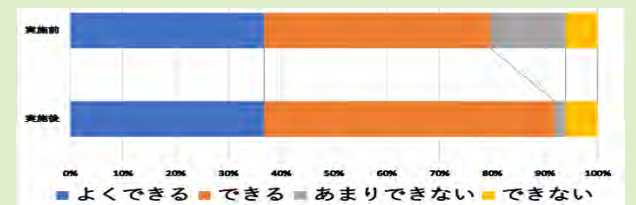
目標 校内アンケートの回答結果にて
 ・体を動かすことが好きと答える児童(80%以上)
 ・あきらめずに運動に取り組むことができると答える児童(80%以上)

【成果】(6年生の結果)

- 体を動かすことがとても好きと答える児童が増えた。**35%→43% (+8%)**



- あきらめずに運動に取り組むことができると答える児童が増えた。**80%→92% (+12%)**



【1年目における実態・課題】

- 体育の授業のゲーム・ボール運動を通して、個人やチームで考えながら、運動に取り組む経験を積んだ。令和5年度の体力テストの結果は東京都の平均以下の項目が多い。朝食を毎日食べない児童が一定数いる。
⇒体育の授業で1年目に経験したことを生かして、新しい運動に挑戦できるようにする。
⇒自分の運動機能を高める機会を作る。
⇒食生活を見直し、健康に生活する意識を高める。

【取組】

- シンキング&チャレンジする体育の授業
・研究授業を年間7時間行い、ゲームの中で考えながら運動に挑戦する体育の授業を実施する。
- コーディネーショントレーニング
・JACOT協会から講師を招いて、全学級でコーディネーショントレーニングを行う。
- 食育指導の充実
・食育週間を年間3回設定し、「食事のマナー」「食への感謝」「栄養のバランス」について指導する。

【取組(詳細)】

○シンキング&チャレンジする体育の授業

体育の授業では、ゲーム・ボール運動の領域で研究授業を行った。2年生は「じゃまじゃまサッカー」、4年生は「ソフトバレーボール」、6年生は「ハンドボール」を行い、どの活動も個人やチームでどう動いたり、ボールをパスしたりすることが良いのか、考えながら取り組めるように工夫した。



2年生の「じゃまじゃまサッカー」では、仲間と協力してスペースを使うことの良さに気づき、得点する児童が増えた。

4年生の「ソフトバレーボール」では、ネット付近からアタックにつなげるために、どうパスするとよいか考えた。



○コーディネーショントレーニング

JACOT協会の講師から教わったトレーニングを全学年継続して取り組んだ。4年生は全5時間のプログラムを組み、集中してトレーニングを行った。



体育委員会の児童が中心となり、体育集会で全校児童にコーディネーショントレーニングを紹介した。

毎週月・木曜日に「朝会前トレーニング」を全校で実施したり、体育の準備運動に取り入れたりした。



○食育指導の充実

毎学期に食育週間を設定し、毎日給食中に放送で食についての指導を行ったり、掲示物を貼ったりした。

食育週間後に第6学年の児童中心に、食育週間を振り返った動画を作製し、テレビ放送で全校児童に紹介した。

